0602

Beacon 15はOFFで, ０～14の値を設定可能.

**（これからの流れ）**

1. Beacon mode をOFF
2. Data送受信
3. Dissector のセットアップ
4. UARTの構築
5. 実際にSensorを使用

**（今週の進捗）**

今まで使用していたものはbeaconが見当たらなかったため, JN5189を使用する.

（MONOSTICK機器も開発環境も変更になる）

＞しかし、アルベルト先生と相談した結果、JN5189は使用しない.

引き続き、同じ環境と通信機器を使用する.

Poll＝beaconと予想をして、Enddeviceにあるpollコードの実行を１回にした.

コマンドプロントでRouterでsnifferが使用できるように設定する.

テキスト

自動的に生成された説明

Pollを初めの１回だけにして、CoordinatorからEnddeviceにデータを送信し、

Coordinator ↔ Router ↔ Enddeviceでデータ送受信.

以下がWiresharkでの表示内容である.

テーブル

自動的に生成された説明テーブル

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス

中程度の精度で自動的に生成された説明

テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

Wiresharkの表示内容を理解していないため、確認する.

(今後のスケジュール)

テキスト

中程度の精度で自動的に生成された説明